

事例2：株式会社ナ・デックス（ノウハウ等の知的財産の見える化・継承手法をブラッシュアップ）

知的財産・ノウハウ管理

体制強化・人材育成

事業承継・技術等継承

■ 知的財産経営実践の概要

解決
したい
課題

営業情報や顧客サポート情報等の知的財産を蓄積、継承する社内基盤を検討し、改善を図る

- 知的財産の棚卸・見える化・蓄積手法を確立
- 知的財産の継承の仕組みを強化

専門家によるハンズオン支援

ハンズ
オン
支援

社内の知的財産を蓄積・継承する社内基盤を検討し、現実的な運用を目指し試行しつつ改善を図る
訪問支援：3回

- これまで蓄積してきた知的財産（営業情報、データ、顧客対応の知見、経験等）の見える化の手法設計・実践に対する助言
- 蓄積できた財産を組織的に活用しグループの提案力や顧客サービス充実等へ派生させる方法について提案

結果
・
成果

知的財産の棚卸・見える化につながる整理手法を策定
部門・機能をまたぐ社内資源の共有方法を検討

今後の取組課題

- ✓ 社が掲げる「トータルソリューションプロバイダーへの変革」の実現に向け、今回案出した棚卸・見える化の仕組みの運用
- ✓ 不断のブラッシュアップを実践し、継承活動の定着を図る

■ 取組の詳細

- ・ 同社グループにおける営業情報ならびに顧客サポートに関する情報・知識・ノウハウ等の知的財産の所在や整理状況の現状から、改善点やあらたに検討すべきことを議論。
- ・ 社内に遍在する知的財産の棚卸・見える化につながる整理フォーマットを案出し、試行実施を通じ、以降の実践フェーズにおける留意点を整理。
- ・ 対顧客サービス（保守サービス）の見直しを含む提供価値の再考の重要性について議論を深掘り。
- ・ 知的財産を承継する仕組みを組織的に定着させていくための手法について改善点を整理。



■ 企業の声

- ・ 経営と知的財産の専門家からの助言を受けつつ、自社の強みを構成する知的財産を再認識する機会となりました。
- ・ グローバル化、ダイバーシティ化が進む自社ビジネスにおいて、蓄積してきた知的財産を着実に蓄積し、それらを活用した事業・製品の改善・改良を図り、当社の提供価値を最大化させていくことに今後も取り組んで参ります。

■ 企業概要

業種	製造業（接合機器の開発、製造、販売、取付工事および接合材料の販売ほか）				
住所	愛知県名古屋市	URL	https://www.nadex.co.jp/		
創業	1950年10月	従業員数	225人（単独）	資本金	10億2,800万円

■ 支援専門家（回数）

支援コーディネータ
中小企業診断士（3）
同行専門家
弁理士・弁護士（2）